

研究所だより

第 74 号

平成 29 年 7 月 21 日 発行

三 股 町 教 育 研 究 所

三股町小・中学校にタブレットPC (Windows) が導入されます!!

平成 29 年度、三股町小中学校職員及び長田小児童にタブレット PC (Windows) が導入されます。これにより、三股町研究所ではタブレット PC を使った効果的な活用について検討しています。



**タブレット PC = 【パソコン + 実物投影機 + 電子黒板】の役割
この役割を無線(ワイヤレス)で TV に映し出せます**

◆タブレット PC でできること

- ① 画面を拡大・縮小できる
- ② 画面の一部に印・マークをつける
- ③ 部分的に隠したりできる
- ④ 動画で動きをつけて視覚的に提示する
- ⑤ 音声を出して提示できる
- ⑥ カメラ機能で記録する
- ⑦ データを蓄積できる
- ⑧ PC 用ソフト (Word、Excel、PowerPoint) 等が使える
- ⑨ デジタル教科書を活用できる
- ⑩ パワーポイントで自作のプレゼンテーションができる
- ⑪ インターネットを活用できる
- ⑫ タイマーとして大きく提示できる
- ⑬ 動画サイトを活用できる
- ⑭ 児童・生徒のノートの取り方指導に活用できる
- ⑮ 児童・生徒の作品が提示できる
- ⑯ 児童・生徒の活動を記録に残し、何度も振り返られる
- ⑰ 個別指導 (期間指導) でヒントカードとして活用する

◆タブレット PC を活用した学習場面

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となります。</p> <p>▶ A1: 教員による教材の提示 図書の拡大表示や挿絵の拡大表示、動画などの活用</p> 	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った速度で学習することが容易となります。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となります。</p> <p>▶ B1: 個に応じる学習 一人一人の学習の進捗等に応じた学習</p> <p>▶ B2: 調査活動 インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p> 	<p>タブレット PC や電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となります。</p> <p>▶ C1: 発表や話し合い グループや学級全体での発表・話し合い</p> <p>▶ C2: 協働での意見整理 複数の意見・考えを整理して整理</p> 
<p>▶ B3: 思考を深める学習 シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p> 	<p>▶ B4: 表現・制作 マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p> <p>▶ B5: 家庭学習 情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p> 	<p>▶ C3: 協働制作 各自の持ち寄り</p> <p>▶ C4: 学校の壁を越えた学習 遠隔地や海外の学校等との交流授業</p> 

～「ICTを活用した指導方法～学びのイノベーション事業実証研究報告書平成26年4月」より～

◆タブレット PC の導入時期

- ・ 校務用 PC・・・H29. 8月に導入
(現在、職員室に設置している校務用 PC をタブレット PC に更新する。
校務、授業等で活用できる。)
- ・ PC 室用 PC・・・H29. 8月導入 (長田小)
H30以降、他6校にも導入予定



「新しい研究に向けて」

三股町教育研究所
研究指導員 園田修司

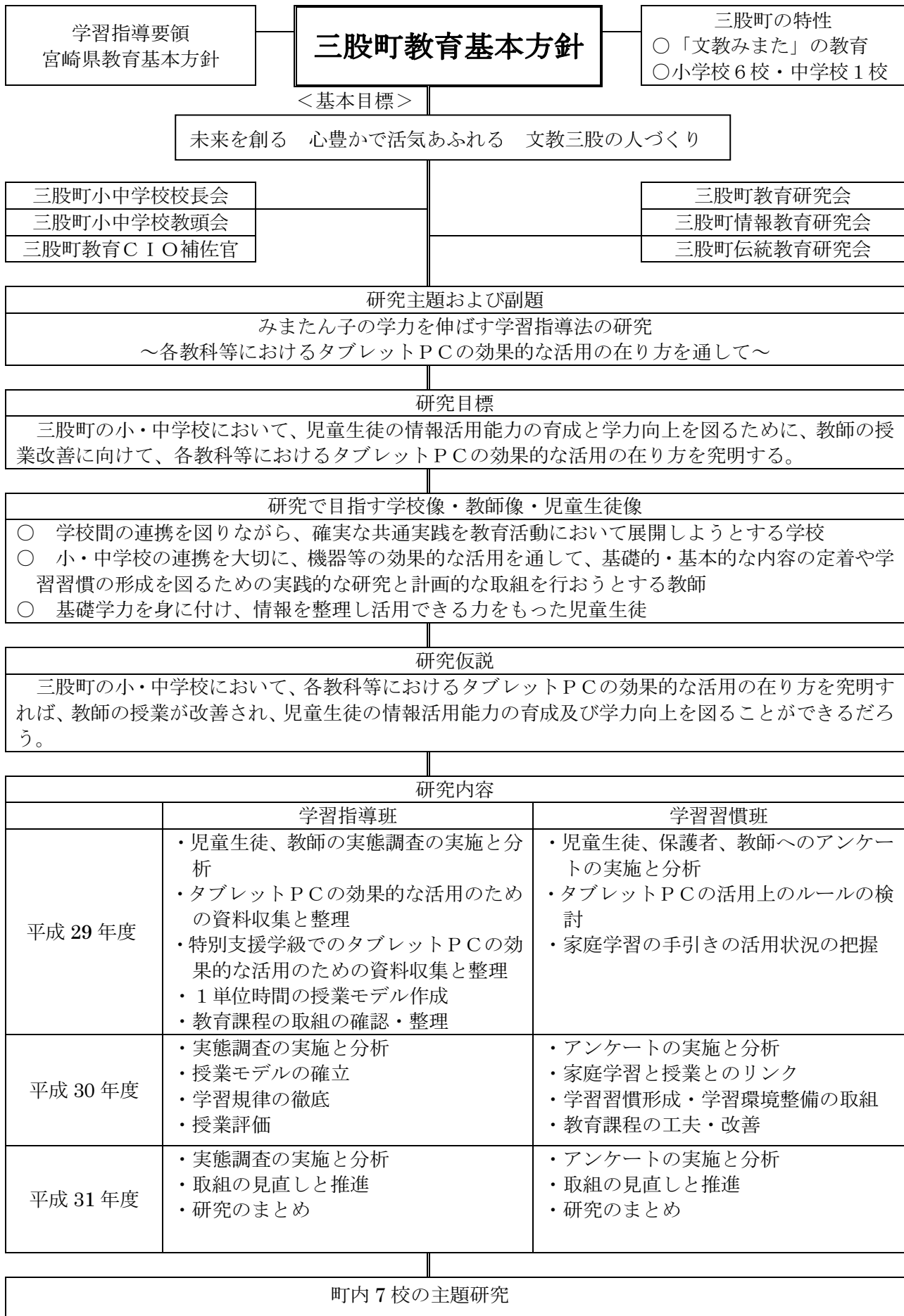


三股町は、平成26年度から3カ年間、宮崎県教育委員会から「子どもの学びを高める“ひむか”の授業づくり推進事業」の「基礎学力定着指導実践推進の地域指定」を受け、研究を推進してまいりました。特に平成28年度は、研究主題「みまたん子の学力を伸ばす学習指導等の研究」と、副題「小中連携を大切にした基礎的・基本的な内容の定着と学習習慣の形成を通して」として、この研究主題と副題を全ての小中学校で統一し、平成26年度から3カ年間の研究の集大成として10月24日（木）に研究公開を開催したところです。県内から約340名の先生方が参加され、本町の研究の一端をみていただきました。参加者の先生方にとって学力向上のヒントになったものと考えております。この研究においては、三股町教育研究所の果たした役割は大変大きなものでありました。それは、教師の授業改善や家庭学習の充実が図ることができ、児童生徒の学力向上につながったものと考えています。教育研究所のリーダーシップにより、町内の7つの小中学校の約150名の先生方が、心一つにして「チーム三股町」として、約2500名の児童生徒のために積極的に取り組んだことがその要因の一つであると考えます。ただ、依然として学力向上は大きな課題であり、それを支える教師の授業改善を今後も図っていく必要があります。

平成29年度は、平成28年度までの研究を生かしつつ、さらなる教育研究所の充実を図り、三股町の小中学校の教育の充実発展のため、児童生徒の学力向上のために尽力していきたいと考えております。具体的には、平成32年度から小学校が、平成33年度には中学校が新しい学習指導要領による教育課程がスタートします。今回の学習指導要領の改訂のポイントとして、「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」、「主体的・対話的な深い学び」等があげられています。それらの視点からの授業改善に向けての施策の一つとして、「情報活用能力の育成」「プログラミング的思考の育成」が言われています。そこで、本年度から新しいテーマ「各教科等におけるタブレットPCの効果的な活用の在り方」について研究を推進し、教職員の皆さんに提案し理解をしていただき、授業で活用していただくことで、児童生徒の学力向上につながるようにしていきたいと考えています。本年度も引き続き、皆様方の教育研究所へのご理解・ご指導のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、昨年度までの研究指導員の馬場真吾先生の後を引き継ぐことになりました、園田修司です。歴史と伝統のある三股町教育研究所の充実のため、さらには町内の小中学校の児童生徒・教職員のために、しっかり精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

研究の全体構想図



平成29年度 三股町教育研究所 研究員

私たちは「文教みまた」の継承と発展のために頑張ります!!



三股小学校
近藤 加代子



三股小学校
能勢 和弘



勝岡小学校
佐藤 文香



梶山小学校
日高 政晴



宮村小学校
奥野 左紀子



長田小学校
藤田 政宏



三股西小学校
小山田 友美



三股西小学校
今田 拓晃



三股中学校
木村 精吾



三股中学校
南 洋一郎

私たちは、平成29年度の研究所の研究員です。2年目の研究員が5名、1年目の研究員が5名です。

三股の子どもたちの学力を伸ばすために日々研究しています。毎週火曜日18:00~20:00に中央公民館で研究会を行っています。

よろしくお願いいたします。

編集あとがき

1学期の研究会では、「タブレットでどんなことができるのか。」「タブレットを使って、どのような場面でどのような活用ができるのか。」について話し合いを進めてきました。8月に、各校校務用タブレットPCを導入するので、その操作方法、活用の仕方等、各校の研究員が校内研修等にてお伝えしていく予定です。また、夏季研修会では、本年度の研究内容についてご報告させていただきます。今後は、学習指導班、学習習慣班に分かれて、「タブレットPCを使った1単位時間の授業モデルの作成」「タブレットPCに関する児童生徒への実態調査と分析」を行う予定です。これからも、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。